

JERコンクリート補改修協会： 令和7年度総会を開催 マッチングシステムで連携強化図る

JERコンクリート補改修協会は7月30日、神戸市中央区のANAクラウンプラザホテル神戸で令和7年度総会を開催した。

佐藤匡良会長は総会冒頭の挨拶で「若年労働者の建設業離れによる人材不足について触れ、「省力化・自動化・機械化技術の導入を推進するとともに、会員同士の連携が非常に重要だと考える」と語り、会員間の連携促進を目的に運用している「マッチングシステム」について、「事務局がサポートするので、積極的な活用を」と呼びかけた。総会では任期満了に伴う役員の改選が行われ、佐藤会長が再選された。

今年度事業では、建設業界の人手不足対策として構築した全国的なネットワーク「JERマッチングシステム」の正式運用を開始する。全国の協会会員同士の情報交換をJER事務局が仲立ちし、マッチングを図って人手不足による受注量減の解消を図る。また技術研修会の定期開催など技術委員会活動の活性化を図るとともに、JER専門技術者認定試験の受験申請システムを構築し技術者の育成を促進。コンクリート防食技士資格所有者の増加に向けて、会員の受講・受験・更新費等について無償対応を行う予定だ。



佐藤会長

JERコンクリート補改修協会管路部会： 令和7年度総会を開催 新工法開発など独自性の追求進める

JERコンクリート補改修協会管路部会は7月30日、神戸市中央区のANAクラウンプラザホテル神戸で令和7年度総会を開催した。

開会にあたり挨拶を行った井上敬介部会長は「1月に埼玉県八潮市で発生した下水道管の陥没事故を受けて、下水道メンテナンス分野への社会的関心が強くなっている。異業種からの参入も活発で、技術革新も加速しており、当協会にも流れに遅れることのない迅速で柔軟な対応が求められている。今年度から新たに加わったジックボードVG工法など、独自性を追求してさらなる発展に努めたい」と決意を述べた。任期満了による役員改選では井上部会長の続投が決まった。

今年度は、JERコンクリート補改修協会の下水道施設総合カタログで管路部会認定工法が一覧できるよう構成するほか、協会広報に関する施工アニメーションを作成して工法PRの訴求力向上を図っていく。また、八潮市の陥没事故を受けて人孔更生工法の応用による管渠内補修の相談もあることから、管渠内シートライニング試験施工などの共同研究を進めていく方針だ。



井上部会長